



平素は奈良市の教育・保育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
平成29年2月28日（火）に開催いたしました、保護者説明会でいただいたご意見・ご質問をQ&A方式でまとめましたので、当日の説明内容の概要とともにお配りさせていただきます。

1 当日の説明内容について

(1) 東登美ヶ丘幼稚園舎の改修工事について（案）

- 改修工事については、平成29年度に行います。また、工事を2期に分けることで園運営にできるだけ支障をきたさないように、夏休みも有効活用しながら工事を行います。
Ⅰ期目工事については、平成29年7月下旬～8月末
Ⅱ期目工事については、平成29年9月～10月末 を予定しています。
なお、9月以降はリニューアルした保育室にて、園児が生活できるようになる予定です。
- 改修工事の内容について
 - ①保育室・リズム室の改修箇所概要
 - 床・壁・天井の美化
 - 空調・網戸の設置
 - 保育室の2室をそれぞれ給食室及び子育て支援室へ改修
 - ②トイレの改修箇所概要
 - 床の乾式化
 - 便器の洋式化
 - ③管理棟の改修箇所概要
 - 内壁を撤去し、ワンフロアへ改修することで職員室を拡張
 - 男女別の大人用トイレを設置 等を行います。

(2) 認定こども園の仕組みについて

- 3歳児からは、親の就労の有無にかかわらず、利用できる施設です。
- 9時～14時までは、1号認定、2号認定の子どもが共通の教育・保育を行い、原則、クラス担任を1人配置します。1号認定については、開園から9時までと、14時から降園までは、預かり保育が利用でき、2号認定の子どもと一緒に保育を行います。預かり保育にはクラス担任に変わり、預かりの担任がつくこととなります。
- 子育て支援室を配置し、担当の職員を配置することによって、園に通っていない子どもや保護者の方が子育てに関する相談や、交流ができます。
- 「奈良市立こども園カリキュラム」に則って、年齢に応じた教育・保育を行います。

2 いただいた主なご質問等と市の考え方について（事前にいただいた質問含む）

(1) こども園移行までの整備内容等について

Q1 駐車場・駐輪場はどの程度の数が確保されますか。また、利用条件はどのようなものか知りたいです。

A1 送迎用駐車場については、十数台整備させていただく予定となっています。また駐輪スペースについては、東登美ヶ丘幼稚園敷地はスペースに余裕があるので、こども園移行に向けた施設の整備状況を見ながら園と協議して場所を決定したいと考えています。なお、駐車場の利用条件（車で通園許可）ですが、今後園とも検討を行ったうえで決定しますが、現在の案としては東登美ヶ丘幼稚園から半径1.5km以上にお住まいの方を対象とする予定です。

Q2 来客用トイレは、車いすなどの身体障がい者が使用できるようなスペースはありますか。

A2 工事担当課に確認をしましたが、来客用トイレ設置場所の周りの壁は、全て建物を支える構造壁となっているため、出入口の扉を車いすがそのまま乗り入れられる幅に、工事によって拡張したりすることは不可能であるとのことでした。

Q3 東登美ヶ丘幼稚園がこども園へ移行する平成30年4月の段階で、登美ヶ丘幼稚園の地域の子どもも優先してもらえるのですか。

A3 定員以上の申し込みがあった場合は、平成30年4月入園募集より東登美ヶ丘の地域の子どもたちと同じく、登美ヶ丘幼稚園の地域の子どもたちも第一優先とする予定です。

Q4 それぞれの定員はどのくらいを見込んでいるのですか。また何クラスくらいになるのですか。

A4 正式な定員数は、園児募集の際に決定することになりますが、現段階では各年齢2クラスずつの運営を予定しています。

(2)こども園運営に関すること

Q1 こども園になった後も14時以降の園庭開放は維持できますか。

A1 2号認定の子どもについては、午睡があるため、状況によっては大きな声を出すことが制限される場合もあるかもしれませんが、基本的には引き続き園庭開放は実施する予定です。今後、午睡する保育室の場所を考慮するなど園と検討を行っていきます。

Q2 1号認定の園児も預かり保育は、理由に関係なく利用できますか。

A2 理由を問わず、利用が可能です。

Q3 制服はありますか。

A3 制服については、市として一律の基準はなく、現在も各園ごとに方針を決定しています。これまでの再編においては、保護者のご意見を伺いながら、移行期の保護者に新たな経済的負担が少ない方法で決定しており、（仮称）東登美ヶ丘こども園においても同様に配慮させていただきます。

Q4 保育内容は保育園的または幼稚園的になるのですか。（市立こども園カリキュラムを具体的に）

A4 どちらかに偏るということはありません。奈良市立こども園カリキュラムは、「0歳～2歳児の保育カリキュラム」、「3歳～5歳児の幼児教育のカリキュラム」、「3歳～5歳児の長時間保育のカリキュラム」から成っており、3歳～5歳児は、9時から14時までは幼稚園と同等の教育、7時30分から9時までと14時以降は、保育園と同等の保育を行います。
当カリキュラムは、自ら考え、判断し、行動する「判断と行動」、もの・ひと・ことと関わり、関係を結ぶ「結い」、思いや気付きや感じたことを表し、認め合う「表現と反応」の3つのコンセプトを柱として、小学校以降の学びの継続を視野に教育・保育を行っています。

Q5 行事等について、保護者の関わり方は現在の幼稚園と変わりますか。

A5 2号認定利用の保護者の方については就労されているため、行事の日程などは園と検討しながら決めていくこととなりますが、行事等の関わり方については、今までと変わりません。

Q6 教育保育士の配置の考え方は、現在の幼稚園と変わりますか。

A6 変わりません。9時から14時までの共通の教育・保育の時間には、クラス担任の保育教育士を配置し、7時30分から9時までと14時以降は、預かり保育の担任の保育教育士を配置します。園児数に対する先生の配置の考え方は、3歳児はおおむね20人に1人、4歳・5歳児はおおむね30人に1人となっています。

Q7 登美ヶ丘小学校との連携はどのように行いますか。運動会等、大きな行事が重ならないように日程を組んでほしいです。

A7 各園・学校行事が重ならないように、園と小学校間の情報共有を密に行いながら、園運営を行っていきます。小学校との交流については、例えば左京幼稚園と佐保台幼稚園を再編した左京こども園では、左京小学校、佐保台小学校両校と交流を行っています。（仮称）東登美ヶ丘こども園についても同様に、登美ヶ丘小学校、東登美ヶ丘小学校ともに交流を行っていきたいと考えています。

Q8 小学校と幼稚園で降園時間が重なるとき、短時間でも預かり保育を利用できますか。

A8 預かり保育は、預かり時間が長い、短いに関係なく1回500円で利用が可能です。

Q9 平成31年度より、登美ヶ丘幼稚園が東登美ヶ丘へ移行する際、登美ヶ丘幼稚園の先生も一緒に異動してもらえるのですか。

A9 園職員の異動については、保育の連続性を考え、これまでの取組と同じようにできるだけ配慮は行っていきたいと考えています。

Q10 預かり保育・給食など決まっている金額があれば、教えてください。

A10 預かり保育については、預かり時間・理由に関わらず1回500円、給食については、1号認定は月額3,740円となっており、長期休業中（夏休みなど）に預かり保育を利用される場合は、1食220円が必要です。2号認定については、主食費として月額600円が必要となります。また、その他教材費などの実費徴収があります。

Q11 （仮称）東登美ヶ丘こども園は、3歳から5歳の施設になるとのことですが、保育園利用の場合、0歳から預けたい人は、0歳から2歳までは他の保育園に預けて、（仮称）東登美ヶ丘こども園に入園したい場合、3歳になった段階で転園しなければならないことになるので、0歳児からの受け入れも行ってほしいです。

A11 この東登美ヶ丘幼稚園は幼稚園であるため、0歳～2歳児の受け入れを行うには、新たに調乳室や浴室など乳児の仕様に保育室を整備する必要があります。登美ヶ丘・東登美ヶ丘地域の3歳～5歳児の子どもを受け入れるには各年齢2クラス（各年齢2室）ずつ必要であると考えており、こども園へ移行する際には乳児仕様の保育室以外に、給食室や子育て支援室の整備も行う必要があることから、保育室として使用できるのは6室であり、0歳児からの受け入れを行うことは現時点では困難です。

Q12 子育て支援室は0歳から2歳の子どもも利用できるとのことですが、預かり保育も利用できるのですか。

A12 預かり保育については、在園児が対象となります。私立の園では、在園児以外でも一時的に預かり保育が利用できる園もありますが、奈良市内の市立園で実施している園はありません。

Q13 預かり時間が延びたり、子育て支援室など、様々な時間に様々な方が出入りするようになると思いますが、安全面はどうするのですか。

A13 開園時間の7時30分からは必ず園職員が門の前で交代で立つようにしたり、共通の教育・保育が始まる9時以降は門の施錠を行い、御用の方はインターホンを鳴らしていただくなど、管理を徹底していきます。

Q14 すでに運営されているこども園の中で、わかってきたデメリットはありますか。

A14 園職員の立場からは、共通利用時間の担任と預かり保育担当が分かれることから、全職員と一緒に集まって会議をしたりすることが少し難しくはなってくる点があげられますが、連絡版に掲示したりして情報共有・連携を取る工夫をしています。また、給食が始まるので、一人一人に合わせたきめ細かなアレルギー対応が必要となってくる点が職員にとっては新たに気を付けなければならない点です。
利用者の立場からは、再編により通園距離が遠くなる方が出てくることが挙げられますが、再編は3年保育や預かり保育の実施などの人材・財源を生み出すための取組であり、本市としては、駐車場・駐輪スペースの整備をすることで、できるだけ負担のかからないようにしていきたいと考えています。
また、定員を設定することから、抽選となる可能性があります。現在、奈良市では9園のこども園がありますが、青和、都跡こども園では第一優先の方が抽選となっていますが、その他のこども園では、第一優先の方は全員入園できています。（仮称）東登美ヶ丘こども園についても、地域の実情、周辺の状態を勘案したうえで、定員を設定します。

Q15 幼稚園ではPTAがあり、保護者が日中に集まって作業をしたりすることがありますが、こども園になると2号認定利用の保護者もいるため、日中に集まることは難しい人が出てくるため、1号認定利用の保護者ばかりに負担がかからないのですか。

A15 例えば、帯解幼稚園と帯解保育園が再編して一体となった帯解こども園では、日中に集まることができる人は日中に集まって作業を行い、日中に集まるのが難しい方は夜に集まってそれぞれ作業を行うなどしています。このように、一部の保護者に負担が偏ることがないように各園工夫しながら活動しており、他の市立こども園においては、2号認定利用の保護者の方がPTA会長を務めたケースもあります。

(3)その他

Q1 公私立の保育園の入園手続きは奈良市が行っていますが、こども園になるとどうなるのですか。

A1 こども園へ移行しても、申し込みの仕組みは変わりません。2号・3号認定利用の場合は保育所・幼稚園課にて入園手続きを行い、1号認定利用であれば園に直接申し込みをすることになります。園児募集の時期についても、現在の幼稚園、保育園の募集時期と変わりません。

Q2 最近、少子化問題が非常に問題になっている中で、登美ヶ丘幼稚園がなくなると地域の少子化が進むのではないかと懸念しており、また東登美ヶ丘までのアップダウンのある道を歩いていくことは厳しいですが、そのことについてはどう考えているのですか。

A2 少子化問題は本市としても把握しており、現在の東登美ヶ丘幼稚園・登美ヶ丘幼稚園でも過小規模化が進んでいます。そのため、集団での学び合い・育ち合いの場を確保するため、再編により一定の集団規模を確保し、さらなる教育・保育の充実を図るため、限られた財源・人材を有効活用して、3年保育や預かり保育などのニーズに応えていきたいと考えています。通園距離に関しては、再編にあたってデメリットであると認識していますが、本市としては、他のこども園と同様に駐車場や駐輪スペースを整備することによって対応していきたいと考えています。

Q3 全ての幼稚園で3年保育は実現できないのですか。

A3 財源・人材には限りがあり、本市では全ての幼稚園で3年保育を実施することは非常に困難な状況にあります。そのため再編によって生み出した財源・人材を有効に活用して、こども園に移行することにより3年保育などのニーズに対応しているところです。

Q4 保育料の利用者負担額の多子軽減の制度について、今後年齢制限が撤廃される予定はあるのですか。

A4 保育料の利用者負担額の多子軽減の制度は、国で定められた制度ですが、多子軽減の年齢制限を撤廃するという国からの通知は、現在のところありません。

市立幼保施設の再編に関する問い合わせ先

[担当課] 奈良市 子ども政策課 (市役所中央棟3階)

(担当) 柏木 ・ 小寺

[TEL] 0742-34-4792 [FAX] 0742-34-4798

[MAIL] kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

[市立幼保施設の再編に関する市のホームページ]

<http://www.city.nara.lg.jp/www/genre/0000000000000/1366066836305/index.html>

